

# 第331回 京都歩こう会コース案内

リーダー 稲原 昇

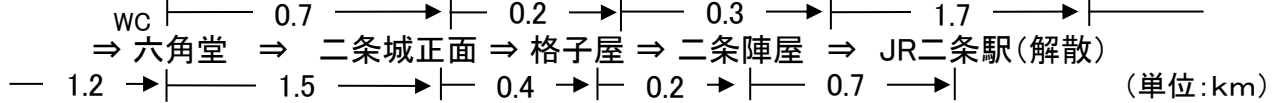
日時:2023年12月8日(金)

集合:京阪本線・清水五条駅 10時出発

コース:町家を歩き歴史の流れを感じる ★

距離:6.9km

行程:京阪清水五条駅 ⇒ 六波羅蜜寺 ⇒ 六道の辻 ⇒ 六道珍皇寺 ⇒ 先斗町公園(昼食) ⇒



## 【見どころ】

### ● 六波羅蜜寺:

東山区髑髏町にある真言宗智山派寺院。創建者は空也上人、本尊は十一面観音立像(国宝)、西国三十三所第17番札所。創建年は定かではないが、平安時代中期951年に造立した十一面観音を本尊とする道場に由来し、当初西光寺と称した。空也上人は疫病蔓延する京都を念仏を唱えて人々を救った。

### ● 六道の辻:

風葬の地、鳥辺野の入口にあたる所、古来よりあの世の入口といわれる六道の辻は、生前に業因により生死を繰り返す六つの迷いの世界への入口。

### ● 六道珍皇寺(ちんのうじ・ちんこうじ):

創建は延暦年間(782~805年)とされ、鎌倉時代まで東寺末寺として栄えたが荒廃、1364年再興 臨濟宗・建仁寺派に改められた。平安時代 小野篁が冥土通いに使用した井戸があることで有名。(閻魔大王座像・小野篁立像)

### ● 頂法寺:

通称 六角堂、天台宗系単立の寺院、本尊は始意輪観音、本堂が平面六角形であることから一般には六角堂と呼ばれている。生け花発祥の地(池坊)としてしられ、聖徳太子が創建した寺院。本堂前の縁結びの柳には、この木の下で絶世の美女と出会って結ばれた、嵯峨天皇の伝説があり縁結びのスポットとして人気がある。

### ● 元離宮二条城(世界遺産):

徳川家康が上洛時の居城として造営した城である。徳川幕府の始まりと終わりをはじめ、日本の歴史を見届けてきた重要な場所。明治維新により徳川将軍家から接收され、皇室の離宮へと変遷、その後昭和14年に二条離宮は京都市に恩賜され、元離宮二条城と改名し現在に至る。



六波羅蜜寺 本堂



頂法寺 本堂(六角堂)



元離宮二条城 東大手門

## 【次回第332回ご案内】

日時:2024年1月12日 (第2金曜)  
 コース:初詣 北野天満宮・正式参拝:0km  
 集合:北野天満宮・大鳥居前 午前10時出発

## 【次回下見会のご案内】

日時:2024年1月26日 (第4金曜)  
 コース:源氏物語・宇治十帖を歩く 距離:7.2km  
 集合:JR奈良線・宇治駅 午前10時